

おわりに

地域内の企業や大学等の多様な連携や協力関係の創出について、草津市では既に製造業の産業クラスター化「草津 CONNECT」を目指し施策展開をしている。この施策展開については、今回のアンケート調査でも「草津市では、多様な研究開発人材の日常的な交流・連携を触発し、異分野融合のイノベーションを生み出す『～草津 CONNECT の実現～』を目指し、各種事業を展開しています」と説明し、これに対して「草津市の産業の発展や活性化にとって、このような取り組みは有効だと思いますか」として、この施策についての有効性をたずねている。

これに対する回答は、「どちらともいえない」が41.7%を占めており、有効性について判断がつかない事業所は多いが、他方で「そう思う」、「ある程度そう思う」をあわせた、有効な施策展開だと考える事業所は48.5%となっており、施策の方向としては草津市内の事業所に受け入れられてきている。

しかし、「では貴事業所は、このような『草津 CONNECT』の一員となって、地域産業の活性化に関わっていきたいと思いますか」との問いかけには、この施策に積極的に関与したいと考える事業所は「そう思う」、「ある程度そう思う」をあわせて24.3%となっており、施策の方向や構想としては妥当なものと感じられているようであるが、まだ具体的にどのような施策でどのように関与するのかを想起しにくい現状がうかがえた。

今回の調査研究では、アンケート調査とインタビュー調査からなる市内企業実態調査により、このような現状認識からはじめ、草津市における産業クラスター形成を進めるための具体的な施策イメージを提示した。今後、各々の企業が産業クラスター化における地域企業、大学、産業支援団体等によるネットワーク形成の取組が、自社利益に繋がるとの認識を持ち、戦略的な連携が次々と生まれ「草津 CONNECT」が実現することを願う。

◎関係者一覧

○アドバイザー（順不同）

松原 豊彦 学校法人立命館 副総長（草津未来研究所 所長）
志賀 文昭 株式会社しがぎん経済文化センター 産業・市場調査部 取締役部長
吉川 友 株式会社しがぎん経済文化センター 産業・市場調査部 研究員
飯田 清子 草津商工会議所 事業課 課長
三宅 一弥 草津商工会議所 事業課 専門員(2014(平成26)年10月31日まで)
西出 崇 立命館大学地域情報研究センター 客員研究員

○行政関係

澁崎 彰一 ハローワーク草津 事業所・職業相談第二部門 産業雇用情報官
望月 敬之 滋賀県商工観光労働部 商工政策課 参事
宮田 善弘 滋賀県商工観光労働部 商工政策課 副参事
島川 弘光 草津市環境経済部 産業労政課 主査
勇田 清孝 草津市環境経済部 商業観光課 主任
岡田 志朗 草津市健康福祉部 社会福祉課 主査

○事務局

一浦 辰己 草津未来研究所 主任研究員
坂居 雅史 草津未来研究所 研究員
岡安 誠 草津未来研究所 研究員（主担当）

参考文献

- 近畿経済産業局ホームページ 〈<http://www.kansai.meti.go.jp>〉 (2014. 6. 13 閲覧)
- 草津市(2009)草津市工業振興計画
- 経済産業省ホームページ 〈<http://www.meti.go.jp>〉 (2014. 4. 20 閲覧)
- 佐賀県地域産業支援センターホームページ 〈<http://www.infosaga.or.jp>〉 (2015. 2. 12 閲覧)
- 滋賀県産業支援プラザホームページ 〈<http://www.shigaplaza.or.jp>〉 (2015. 1. 30 閲覧)
- 滋賀県商工観光労働部・龍谷大学経済学部(2013)滋賀県の中小製造業に関する滋賀県と龍谷大学との共同研究報告書(改訂版)
- 田中祐二・小池洋一(2010)『地域経済はよみがえるか ラテンアメリカの産業クラスターに学ぶ』新評論、p. 57 p. 408
- M・ポーター／竹内弘高訳[1999]『競争戦略論 2』ダイヤモンド社、p. 68

参考資料

参考資料 1 業構造と雇用の変化に関するインタビュー調査票.....	33
参考資料 2 佐賀県中小企業連携強化促進事業ヒアリング概要.....	34
参考資料 3 産業構造と雇用に関するアンケート調査票.....	35
参考資料 4 産業構造と雇用に関するアンケート調査基本集計.....	41

産業構造と雇用の変化に関するインタビュー調査票（2014.8）

草津市総合政策部草津未来研究所

【趣旨】草津市内の製造業における現状と課題等を調査することで、本市の地域特性に対応した産業振興施策とするため、市内製造業者にインタビューを実施するものです。

1. 状況について

- ①貴事業所の業況感はいかがですか。草津市内の業況感はいかがですか。
- ②市内製造業者は、大手企業の業績や景気変動に影響を受けやすい構造にあると思いますか。

2. 雇用情勢について

- ①草津市内に限ると、有効求人倍率も2014年5月現在1倍を越えておりますが、貴事業所では人手不足感はありませんか。また、草津市内からの雇用状況や、人員確保の環境（草津市内からは、採用職種・雇用形態により違いがありますか）。
- ②求めている人材像との関係で、草津市をどのような立地条件としてみていますか。例えば、高度な専門技術や知識を持った人材を求めているのか、安価で質の高い労働力や、短期的に容易に調整しやすい便利な労働力を求めているのか、長期的に人材を育成しようとしているのか等の観点はいかがですか。

3. 取引構造について

- ①市内製造業者の取引構造は、グローバル企業群の立地により、部品調達として1次供給者、2次供給者、そして3次供給者という系列取引が、地域的な偏在のもと強固に存在しているのではないかと考えております。系列取引とはどのようなものであり、貴事業所においても系列取引が存在している場合、系列内での総額はどのようになっていますか。また、草津市内の製造業においても、同様の取引関係をもとにした系列内統制は存在していると思いますか。

- ②従来、系列取引先からの部品調達に関し、取引先への工程管理や品質管理、技術指導等を行っていたものが、多品種小ロット等の生産形態の変更に伴い、そのような管理コストである間接経費の圧縮を図るため、部品調達先等の社外へ管理機能自体の外注傾向が全国的には出始めてきていておられると伺っています。市内企業間、ないしは製造業一般として企業間のつながり関係が、過去に比べてどのように変化していると思いますか。また、10年、20年先の草津市内の製造業についても、同様に生産形態の変化から部品調達先等の社外へ管理機能自体の外注化が進むと思いますか。

4. 各主体（事業者・草津市等）への期待

- ①製造業を取り巻く環境変化の中で、今後の製造業の構造（例えば、中間製品の工程管理、工程間の関係やマネジメントのあり方）はどう展開すると考えられますか。場合によっては、今後各主体の新たな連携が必要になることも想定されますか。

- ②本市の地域特性に対応した現状の産業振興施策についての認識や、満足感を教えてください。また、新しい製造業連携の枠組み創出に関し、各主体に期待することはありますか。また、貴事業所は何ができると思いますか。

5. 自由意見

草津市の製造業連携に関し、他にご意見があれば教えてください。

産業構造と雇用の変化に関するインタビュー調査票（2014.1.2）

草津市総合政策部草津未来研究所

【趣旨】アンケート調査に御回答いただきました市内事業所様に具体的な現状と課題等を行うことにより、今後の草津市における支援策の新たな展開の構築を行うための資料とするため、インタビューを実施するものです。

1 人材等について

- ①草津市内に限ると、有効求人倍率も2014年9月現在1倍を越えておりますが、貴事業所では人手不足感はありませんか。
- ②また、雇用状況や、人員確保の環境（草津市内からの雇用に限らず、人の集めやすさ等）についての認識を教えてください。
- ③それらは、採用職種・雇用形態により違いがありますか。
- ④貴事業所の求めている人材像を教えてください。
- ⑤高度な専門技術や知識を持った人材（例えば、発注者からの図面に基づき製作できる、午前と午後で違うものを製作する等）、安価で質の高い労働力や、短期的に容易に調整しやすい便利な労働力を求めているのか、長期的に人材を育成しようとしているのか等の観点はいかがですか。

2 経営等について

- ①アンケート結果によりますと、価格・納期交渉に際しては、発注側に限らず受注側にも決定権がある等、回答にバラツキが見られました。貴事業所での交渉の実態や、決定権と企業競争力との関係性を教えてください。
- ②また、草津市内にはグローバル企業も数多く立地されておりますが、それらを支える会社群に多い傾向等が、何か考えられますか。

3 共同・連携等について

- ①アンケート結果によりますと、市内、あるいは県南部地域での共同・連携を望まれる事業所様が一定数存在しております。市内企業間、ないしは製造業一般として企業間のつながり関係が、過去に比べてどのように変化していると思いますか。
- ②また、貴事業所では、近接性や、同業種、異業種等を理由とした事業所連携や、大学や産学支援団体等との産官学連携等を期待されますか。
- ③草津市の新しい製造業連携の枠組み創出に関し、各主体に期待することはありますか。
- ④また、貴事業所は何ができると思いますか。
- ⑤製造業連携に関し、他にご意見があれば教えてください。

参考資料 2 佐賀県中小企業連携強化促進事業ヒアリング概要

今回の調査研究では、地域主導型クラスタの先行事例として、2013年(平成25年)度より佐賀県が実施している佐賀県中小企業連携強化促進事業についてヒアリング調査した。



図1 佐賀県中小企業連携強化促進事業の事業体制

この事業は、九州の主要産業となっている自動車産業を中心に、佐賀県内中小企業の取引拡大や新規参入を推進することを目的に、公益財団法人佐賀県地域産業支援センターのコーディネーターが、企業連携による新たな事業展開を支援するものである。メーカーや時代が求めるニーズ、課題、困り事等を吸い上げるとともに、課題解決に向けた研究会を立ち上げる等、ものづくりによる提案型やチャレンジ型の企業育成を推進することを通して、自動車産業および周辺産業の活性化を図り、地域で連携した産業育成発展のための事業スキームを構築している。具体的には、コーディネーターの支援により企業連携体を組織し、発注企業が他地域から調達しているユニット品の共同受注を旨とする活動や、新たな加工技術・新技術を開発し新たな受注拡大や新分野への参入を目指す活動、マーケティングの強化により既存取引の拡大を図る活動を行っている。

事業立ち上げ1年目には、まずは参画意識の醸成と人的ネットワークの形成を図るために、発注企業の自動車メーカーや一次サプライヤーも含めた、全体的なクラスター支援の組織化に注力していたが、実際には個別企業に当たり個別ニーズを吸い上げて、そこから企業の連携構築の立ち上げを図るしか上手くいかなかったようである。そのため、2年目からは図2のように、個別企業ニーズを研究テーマとした受注企業の二次サプライヤー

や三次サプライヤーと呼ばれる企業群の連携構築支援を進めている。さらに、行政の役割として枠組みを作り、事業運営を行い、個別ニーズを吸い上げて受注企業へ情報提供することが、個別企業の行う利益目的での連携ではない独自色となっていることであつた。



図2 平成26年度佐賀県中小企業連携強化促進事業スキーム

他にも、中小企業の参画を促すには、成功のストーリーを見せてメリットを提示する必要がある。企業自身にも将来展望があり、例えば参画することで展示会に出せる技術が作れるかもしれない等の企業メリットを見い出せれば自ずと集まる。やはり、画一的な協議会立ち上げからのクラスター形成への働きかけではなく、企業の個別ニーズ及びみ上げからの連携成功モデルの創出により、企業の連携メリットを提示することが、地域事情に精通した地方政府によって実施するクラスター政策には重要である。

しかし、この事業は県レベルでの事例であるために、このままを草津市や草津市を含む滋賀県南部地域における連携事業に当てはめるのは難しい点に注意しなければならない。

産業構造と雇用に関するアンケート調査

＜調査の趣旨とご協力をお願い＞

初秋の候、H 20は市政の各般にわたりましてご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。さて、本市におきましては、平成 22 年度から自治体内のシンクタンクである「草津未来研究所」を設立し、将来を見据え課題解決を図るための調査研究を行っております。今年度は「草津市の産業構造と雇用に関する調査研究」を研究テーマの1つとしておりまして、草津市の将来を支える製造業の担務のあり方を探るべく調査研究に取り組みしております。つきましては、調査研究を行うにあたり、市内事業所の現状と課題等を伺うことにより、今後の草津市における支援策の新たな展開の模索を行うための資料とするため、アンケート調査にご協力いただきたたく、よろしくお願ひいたします。

回答方法などについて

- ご回答は、経営者または経営全体を把握しておられる方をお願いいたします。
- ご記入は、黒鉛筆またはボールペンでお願いいたします。
- 時期の定めのないものについては、平成 26 年 9 月 1 日現在の状況をご記入ください。
- この調査には、選択肢から1つ選ぶもの、選択肢から選ぶもの、質問文の指示にしたがって自由に記述するものがあります。選択肢から選ぶものについては、質問文の指示にしたがって自由に記述してください。自由記述するものについては、意見を該当する選択肢の番号に○印や×印をつけてください。自由に記述するものについては、意見を自由に記述してください。
- ご回答いただきました調査票は、**平成 26 年 9 月 26 日（金）**までに、同封の返信用封筒（切手不要）にて、草津市役所までご返送ください。
- この調査は市内製造業の事業所を対象に実施しております。対象外事業所の方は、入票恐れ入りますが、次の1～4のうちあてはまるものに○印をつけて返送くださいようお願いいたします。
- 1. 草津市外へ転出した 2. 製造業ではない 3. 現在休業中 4. 廃業した
- 本調査の結果は、統計処理を行い個々の回答が特定できないかたちで公表いたします。また、調査を通じて取得した情報については草津市個人情報保護条例に従って厳重に管理し、政策立案および調査研究（市以外の機関等が調査研究する場合も含む）の目的以外には利用いたしません。
- 今後、調査研究の精度を高めるため、さらに具体的な内容をお聞かせいただく必要がある場合に、市の職員から連絡を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本調査は立命館大学地域情報研究センターに委託して実施しております。

草津市総合政策部草津未来研究所

電話番号 077-561-6009

FAX 077-561-2489

電子メール kusatsumira@city.kusatsu.lg.jp

問1 貴事業所についてお聞かせください。

(1) はじめに、貴事業所の基本情報をご記入ください。（それぞれ記入）

貴事業所名	
代表者名	
住所	〒 草津市

(2) 事業所の組織形態はどれにあたりますか。あてはまるものに○印をつけてください。（○印は1つ）

1. 株式会社	2. 有株式会社	3. 個人事業主	4. その他（ ）
---------	----------	----------	-----------

(3) 創業したのはいつですか。

年	(和暦・西暦いずれでも可)
---	---------------

(4) 草津市内で就業を始めた年次をお聞かせください。（○印は1つ、年次を記入）

1. 草津市内で就業を始めた	2. 草津市以外で就業を始め	年	年から草津市内で就業している
----------------	----------------	---	----------------

(5) 事業を起した経緯をお聞かせください。（○印は1つ）

1. 独自に創業した	2. 他の会社から独立した	3. 分社化した	4. 大学教員や研究者などから独立して事業を起した	5. その他（ ）
------------	---------------	----------	---------------------------	-----------

(6) 資本金をお聞かせください。

円

(7) 直近の決算で事業所の年間の売上高をお聞かせください。

円

(8) 草津市内の事業所にはどのような機能がありますか。以下のうち、あてはまるものにすべて○印をつけてください。（○印はいくつでも）

1. 本社	2. 販売・営業部門	3. 流通・倉庫
4. 研究開発部門	5. 生産部門	6. その他（ ）

(9) 商工関連団体などに加入していますか。加入している団体があれば、あてはまるものすべてに○印をつけてください。（○印はいくつでも）

1. 商工会議所	2. 同業者の団体（協同組合、任意団体等）
3. 商店街振興組合、商店街組合（任意団体）等	4. 滋賀経済同友会
5. (一社) 滋賀経済産業協会	6. 観光関係団体
7. まちづくり協議会、自治会等地域のコミュニティ団体	8. その他の団体（ ）

問1 貴事業所の事業内容についてお聞かせください。

(1) 主な製品の生産、受注の形態について、もっとも近いものに○印をつけてください。(○印は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 自社製品主体の製造業 | 2. 一部自社製品を製造する下請け製造業 |
| 3. 下請け製造 (賃加工を除く) | 4. 独立した加工専門業 |
| 5. 貸加工業 | 6. その他 () |

(2) 生産している主な製品は、次のうちどれにあたりませんか。(○印は1つ)

- | | | | |
|----------|-------------|---------|----------|
| 1. 部品・部材 | 2. 中間製品・半製品 | 3. 最終製品 | 4. わからない |
|----------|-------------|---------|----------|

(3) 貴事業所ではどの分野に関連する製品や部品を出荷していますか。次のうち、あてはまるものすべてに○印をつけてください。また、その中で最も割合が多いものには◎印をつけてください。

(○印はいくつでも、◎印は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 食料品製造業 | 2. 飲料・たばこ・飼料製造業 |
| 3. 繊維工業 | 4. 木材・木製品製造業 (家具を除く) |
| 5. 家具、装飾品製造業 | 6. ハルプ、紙、紙加工品製造業 |
| 7. 印刷、同関連業 | 8. 化学工業 |
| 9. 石油製品、石炭製品製造業 | 10. プラスチック製品製造業 |
| 11. ゴム製品製造業 | 12. なめし革、同製品、毛皮製造業 |
| 13. 窯業、土石製品製造業 | 14. 鉄鋼業 |
| 15. 非鉄金属製造業 | 16. 金属製品製造業 |
| 17. はん用機械器具製造業 | 18. 生産用機械器具製造業 |
| 19. 業務用機械器具製造業 | 20. 電子部品、デバイス、電子回路製造業 |
| 21. 電気機械器具製造業 | 22. 情報通信機械器具製造業 |
| 23. 輸送用機械器具製造業 | 24. その他の製造業 |
| 25. その他 () | |

この中で最も出荷が多い分野 (◎印) へのおおよその出荷割合はどのくらいですか。(割合を記入)

約 割

(4) 貴事業所が保有している技術にはどのようなものがありますか。次のうちあてはまるものすべてに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 設計に係る技術 | 2. 圧縮成形、押出成形、空気の噴射による加工、射出成形、鍛造、鋳造およびプレス加工に係る技術 |
| 3. 圧延、伸縮および引抜きに係る技術 | 4. 研磨、裁断、切削及び表面処理に係る技術 |
| 5. 髪毛及び粉績に係る技術 | 6. 製織、剪毛及び編成に係る技術 |
| 7. 織製に係る技術 | 8. 染色に係る技術 |
| 9. 粉砕に係る技術 | 10. 抄紙に係る技術 |
| 11. 製版に係る技術 | 12. 分離に係る技術 |
| 13. 洗浄に係る技術 | 14. 熱処理に係る技術 |
| 15. 溶接に係る技術 | 16. 溶融に係る技術 |
| 17. 塗装およびメッキに係る技術 | 18. 精製に係る技術 |
| 19. 加水分解および電気分解に係る技術 | 20. 発酵に係る技術 |
| 21. 重合に係る技術 | 22. 真空の維持に係る技術 |
| 23. 巻取りに係る技術 | 24. 製造過程の管理に係る技術 |
| 25. 機械器具の修理および調整に係る技術 | 26. 非破壊検査および物性の測定に係る技術 |
| 27. その他 () | |

- 3 -

(10) 直工職団体に加入している方にお聞きします。これらの団体に加入している理由や目的は何ですか。次のうち、あてはまるものすべてに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 製品開発につなげるため | 2. 技術レベルの向上、ノウハウの蓄積のため |
| 3. 社員の育成のため | 4. 人的ネットワークを広げるため |
| 5. 関連情報の入手のため | 6. 地域活動や社会貢献活動のため |
| 7. 地域住民との交流 | 8. 先代が加入していたから |
| 9. その他 () | |

問2 代表者についてお聞きします。

(1) 現在の代表者は、創業者から何代目にあたりませんか。あてはまるものに○印をつけてください。

(○印は1つ)

- | | | | |
|--------------|--------|--------|----------|
| 1. 一代目 (創業者) | 2. 二代目 | 3. 三代目 | 4. 四代目以降 |
|--------------|--------|--------|----------|

(2) 現在の代表者の性別をお聞かせください。(○印は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(3) 現在の代表者の年齢をお聞かせください。(○印は1つ)

- | | | | |
|----------|----------|------------|----------|
| 1. 10 歳代 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 | 4. 40 歳代 |
| 5. 50 歳代 | 6. 60 歳代 | 7. 70 歳代以上 | |

(4) 後継者はいますか。(○印は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問3 貴事業所の従業員についてお聞かせください。

(1) 事業所の従業員数をお聞かせください。(人数を記入)

- | | |
|--------------|---|
| 1. 総数 | 人 |
| 2. 正社員 | 人 |
| 3. 契約社員 | 人 |
| 4. 派遣社員 | 人 |
| 5. パート・アルバイト | 人 |

(2) 従業員の居住地について、概算でお聞かせください。(内訳を記入)

- | | |
|---------------|---|
| 1. 草津市内 | 割 |
| 2. 草津市以外の滋賀県内 | 割 |
| 3. 滋賀県外 | 割 |

(3) 過去3年間に正規社員をどの地域から、何名採用しましたか。(人数を記入)

- | | |
|--------------|---|
| 1. 草津市内から採用 | 人 |
| 2. 草津市以外から採用 | 人 |

- 2 -

問7 貴事業所の強みや弱みについてお聞かせください。
次のうち、事業所で自信を持っている経営や作業上の「強み」だと思ふものには○印をつけてください。
また、経営や作業上の課題となる「弱み」だと思ふものには×印をつけてください。

(○印、×印それぞれいくつでも)

1. 人材力	2. 優秀力	3. 営業力、販売力
4. 技術力	5. 情報収集力	6. 設備
7. 企画構想力	8. 設計デザイン力・試作品対応	9. 少品種大量生産
10. 多品種少量生産	11.アフターサービス	12. 高品質
13. 価格競争力	14. 短期納期対応	15. 企業間連携
16. 産学官連携	17. その他 ()	

問8 草津市で経営や作業するメリットについて、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

(○印はいくつでも)

1. 物流の利便性	2. 他社との連携しやすさ
3. 工業用水の利用	4. 事業や経営に関する情報の入手しやすさ
5. 入学者が近隣に立地している	6. 滋乳県産業支援プラザなどの産業支援機関との近接性
7. 自然災害の少なさ	8. 地域とのつながりが深い
9. 取引先企業との近接性	10. 従業員の通勤しやすさ
11. 同業種の企業が集積	12. 地代・家賃
13. 試験研究機関との近接性	14. 情報通信基盤の充実
15. 行政支援の充実	16. 人材の確保しやすさ
17. 草津市の地域イメージが良い	18. その他 ()
19. 特になし	

問9 貴事業所の受注についてお聞かせください。

(1) 最も取引額の大きい受注先との取引は、事業所全体のうちのどれくらいを占めますか。(○印は1つ)

1. 10%未満	2. 10～20%	3. 20～40%	4. 40～60%	5. 60～80%	6. 80%以上
----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------

(2) 受注先相手も決まってしまう相手ですか、それともその時々で変化しますか。(○印は1つ)

1. 取引先が決まっている
2. 取引先が決まっている
3. 固定的な取引先とそうでない取引先が半々くらいある
4. あまり固定的な取引先はない
5. 固定的な取引先はない
6. 受注先はいろいろ

(3) 仕事を受注する際に価格や納期についてどの程度決めることができますか。(○印は1つ)

1. 自社が決めることができる
2. だいたい自社が決めることができる
3. 取引先との交渉次第で決まる
4. だいたい取引先によって決められる
5. 取引先によって決められる

(6) 特許や実用新案を持っていますか。(○印は1つ)

1. ある () (作)	2. 申請したことがある	3. ない
---------------	--------------	-------

問5 貴事業所の事業の状況についてお聞かせください。

(1) 5年前と比較して、正規社員の数はどう変わりましたか。(○印は1つ)

1. 大幅に増加した (10%以上の増加)	2. やや増加した (3～10%未満の増加)	3. 横ばい (±3%以下の増減)	4. やや減少した (3～10%未満の減少)	5. 大幅に減少した (10%以上の減少)
-----------------------	------------------------	-------------------	------------------------	-----------------------

(2) 5年前と比較して、派遣社員や契約社員など非正規社員の数はどう変わりましたか。(○印は1つ)

1. 大幅に増加した (10%以上の増加)	2. やや増加した (3～10%未満の増加)	3. 横ばい (±3%以下の増減)	4. やや減少した (3～10%未満の減少)	5. 大幅に減少した (10%以上の減少)
-----------------------	------------------------	-------------------	------------------------	-----------------------

(3) 5年前と比較して、現在の売上上げの状況はどうですか。(○印は1つ)

1. 大幅に増加した (10%以上の増加)	2. やや増加した (3～10%未満の増加)	3. 横ばい (±3%以下の増減)	4. やや減少した (3～10%未満の減少)	5. 大幅に減少した (10%以上の減少)
-----------------------	------------------------	-------------------	------------------------	-----------------------

(4) 5年前と比較して、現在の利益の状況はどうですか。(○印は1つ)

1. 大幅に増加した (10%以上の増加)	2. やや増加した (3～10%未満の増加)	3. 横ばい (±3%以下の増減)	4. やや減少した (3～10%未満の減少)	5. 大幅に減少した (10%以上の減少)
-----------------------	------------------------	-------------------	------------------------	-----------------------

(5) 全体的にみて、あなたの事業所の今後の見通しはどうですか。(○印は1つ)

1. 明るい	2. ある程度明るい	3. どちらともいえない	4. あまり明るくはない	5. 明るくはない
--------	------------	--------------	--------------	-----------

(6) では、最近の日本全体の景気動向については、どう思いますか。(○印は1つ)

1. 良い	2. やや良い	3. どちらともいえない	4. やや悪い	5. 悪い
-------	---------	--------------	---------	-------

問6 貴事業所の経営上の課題についてお聞かせください。

(1) 次のうち、現在の経営上の課題だと感じているものすべてに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

1. 売上高・受注量の減少	2. 取引先の減少
3. 取引条件、価格競争の激化	4. マーケティング、顧客ニーズの把握が困難
5. 新事業展開への取り組み不足	6. 仕入額、諸経費の増加
7. 資金不足、資金繰りの悪化	8. 需要の多様性に対応する生産システムの遅れ
9. 物流システム効率化の遅れ	10. 情報システム整備の遅れ
11. 技術者人材の確保が困難	12. 人材育成・後継者がいない
13. 経営ノウハウの不足	14. 為替変動
15. その他 ()	
16. 特に困っている問題はない	

(2) 経営に関してどのようなアドバイスや情報がほしいですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

1. 製品や技術の開発	2. 海外の状況	3. 法律関係
4. 財務・税務関係	5. 顧客のニーズ	6. 企業連携や産学官連携
7. 後継者・従業員育成	8. 顧客満足向上策	9. 情報化(IT)関係
10. 公的支援や補助金	11. 市場動向	12. その他 ()

(4) 製造した製品の納入先（販売先）の地域（市場エリア）の地域（市場エリア）はどこですか、それぞれ概算の割合をお聞かせください。

(内訳を記入)	
1. 草津市内	型
2. 草津市以外の滋賀県内	型
3. 京阪神方面	型
4. 中京、東海方面	型
5. 関東、首都圏	型
6. 国内のその他の地域	型
7. 海外	型

問 10 貴事業所の発注についてお聞かせください。

(1) 最も取引額が大きいい発注先の取引は、事業所全体のうちのどれくらいを占めますか。(〇印は1つ)

1. 10%未満
2. 10～20%
3. 20～40%
4. 40～60%
5. 60～80%
6. 80%以上

(2) 発注先相手はいつも決まった相手ですか、それともその時々で変化しますか。(〇印は1つ)

1. 取引先が決まっている
2. だいたい取引先が決まっている
3. 固定的な取引先とそうでない取引先が半々くらいある
4. あまり固定的な取引先はない
5. 固定的な取引先はない
6. 発注先はない

(3) 仕事を発注する際に価格や納期についての程度決めることができますか。(〇印は1つ)

1. 自分で決めることができる
2. だいたい自分で決めることができる
3. 取引先との交渉次第で決まる
4. だいたい取引先によって決められる
5. 取引先によって決められる

(4) 製品を製造するための原材料や部品、部材はどこから調達していますか、それぞれ概算の割合をお聞かせください。

(内訳を記入)	
1. 草津市内	型
2. 草津市以外の滋賀県内	型
3. 京阪神方面	型
4. 中京、東海方面	型
5. 関東、首都圏	型
6. 国内のその他の地域	型
7. 海外	型

問 11 事業所同士のつながりについてお聞かせください。

(1) これまでに、取引関係以外で草津市内の企業や事業所との連携の実績はありますか、次のうち、実績があるものすべてに〇印をつけてください。(〇印はいくつでも)

1. 新製品の共同研究、開発
2. 共同受注
3. 共同企画、設計、デザイン
4. 共同製造
5. 共同販売
6. 共同での人材育成
7. 共同でのイベント実施
8. 共同PR
9. 経営統合や合併
10. その他 ()
11. 実績はない

(2) 次のうち、草津市内の企業や事業所との連携で、今後、取り組んでいきたいと考えているものや、既に取り組んでいるがさらに強化したいと思うものすべてに〇印をつけてください。(〇印はいくつでも)

1. 新製品の共同研究、開発
2. 共同受注
3. 共同企画、設計、デザイン
4. 共同製造
5. 共同販売
6. 共同での人材育成
7. 共同でのイベント実施
8. 共同PR
9. 経営統合や合併
10. その他 ()
11. 関心がない

(3) では、これまでに取引関係以外で滋賀県南部地域の企業や事業所との連携の実績はありますか、次のうち、実績があるものすべてに〇印をつけてください。(〇印はいくつでも)

1. 新製品の共同研究、開発
2. 共同受注
3. 共同企画、設計、デザイン
4. 共同製造
5. 共同販売
6. 共同での人材育成
7. 共同でのイベント実施
8. 共同PR
9. 経営統合や合併
10. その他 ()
11. 実績はない

(4) 次のうち、滋賀県南部地域の企業や事業所との連携で、今後、取り組んでいきたいと考えているものや、既に取り組んでいるがさらに強化したいと思うものすべてに〇印をつけてください。(〇印はいくつでも)

1. 新製品の共同研究、開発
2. 共同受注
3. 共同企画、設計、デザイン
4. 共同製造
5. 共同販売
6. 共同での人材育成
7. 共同でのイベント実施
8. 共同PR
9. 経営統合や合併
10. その他 ()
11. 関心がない

(5) 将来の事業展開や生き残りに向けて、連携や協力が必要だと思ふ相手にすべて〇印をつけてください。(〇印はいくつでも)

1. 地域の同業者
2. 自社とは違う分野の企業
3. グローバルな大企業
4. 国や県、市などの行政
5. 金融機関
6. 商工会議所などの関連団体
8. 商社や卸売会社など流通業者
7. 大学や研究機関
9. 経営コンサルタント
10. その他 ()

問 12 草津市の産業政策についてお聞きします。

(1) 草津市では、多様な研究開発人材の日常的な交流・連携を軸とし、異分野融合のイノベーションを生み出す「～草津 CONNECT の実現～」を旨とし、各種事業を展開しています。草津市の産業の発展や活性化にとって、このような取り組みは有効だと思いますか。(O印は1つ)

1. そう思う	2. ある程度そう思う
3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない
5. そう思わない	

(2) では貴事業所は、このような「草津 CONNECT」の一員となつて、地域産業の活性化に関わっていきたいと思いますか。(O印は1つ)

1. そう思う	2. ある程度そう思う
3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない
5. そう思わない	

(3) 事業所同士の連携のあり方として、次の (A) (B) の2つの方向があります。貴事業所が将来の事業展開で他の事業所と連携するとしたら、どちらの方向を重視したいですか。もつとも考えに近いものにO印を付けてください。(O印は1つ)

- (A) 近隣の事業所が連携や協力を深め、地域の産業を活性化させる
- (B) 地域にとらわれず、国内外の様々な事業所とグローバルに連携や協力をする

1. (A)の方向を重視したい	2. どちらかといえば(A)の方向を重視したい
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば(B)の方向を重視したい
5. (B)の方向を重視したい	

問 13 行政の補助金や公的支援制度についてお聞きします。(O印はいくつでも)

(1) 次にあげる草津市の事業のうち、知っているものすべてにO印をつけてください。(O印は1つ)

1. 草津イノベーション・コーディネータ (略称: KIC)
2. 産学連携スタートアップ事業補助金
3. 工場等設置助成金
4. 草津市企業情報サイト「あうんです！」
5. セールスプロモーション支援事業
6. 草津市中小企業館電対策設備投資補助金

(2) 行政の補助金や公的支援制度に関する情報を聞いたり、知ったりする機会はどのくらいありますか。(O印は1つ)

1. よくある	2. ときどきある
3. どちらともいえない	4. あまりない
5. ほとんどない	

(3) 行政の補助金や公的支援制度の中で、現在、興味があるものや利用してみたいものはありませんか。(O印は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

(4) これまでに、行政の補助金や公的支援制度を利用したことがありますか。(O印は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

(5) 行政が補助金や公的支援制度を整備することは、自社の経営や将来展開にとって役に立つと思いますか。また、そう思う理由についてもお聞かせください。(O印は1つ、理由)

理由	
1. 非常に役立つ	
2. ある程度役立つ	
3. どちらともいえない	
4. あまり役立つ	
5. まったく役立つ	

(6) では、草津市の地域の製造業の発展にとって、行政の補助金や公的支援制度は必要だと思いますか。(O印は1つ)

1. 必要である	2. ある程度必要である
3. どちらともいえない	4. あまり必要ではない
5. 必要ではない	

問 14 経営への取り組みや姿勢についてお聞きします。

(1) 事業所の経営者にとって、次の資質はどのくらい必要だと思いますか。(O印はそれぞれ1つ)

	かなり必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要ではない	ほとんど必要はない
a. 意思決定力	1	2	3	4	5
b. 実務、現場の知識に精通していること	1	2	3	4	5
c. 企画力、構想力	1	2	3	4	5
d. 先見性	1	2	3	4	5
e. 指導力	1	2	3	4	5
f. 人間的魅力	1	2	3	4	5
g. 対外的な交渉力、折衝力	1	2	3	4	5
h. 業界への影響力	1	2	3	4	5

	あてはまる	ある程度あてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
j. 地域社会の一員として、地域の行事や催事に参加していききたい	1	2	3	4	5
k. 自社の技術・技法は、今までは違った分野にも応用できるはずだ	1	2	3	4	5
l. 現在の事業の形態には満足している	1	2	3	4	5
m. 常に中長期的な事業計画や見通しをもつて事業に取り組んでいきたい	1	2	3	4	5
n. 今の事業を後継者に引き継いでいきたい	1	2	3	4	5
o. 自社オリジナルの製品や技術・技法を開発したい	1	2	3	4	5
p. 何事も固りと歩調を合わせるのがよい	1	2	3	4	5
q. 異業種や世代を超えた広い人脈をつくるように心がけていきたい	1	2	3	4	5
r. 業界の有力者の言うことには従っておくのがよい	1	2	3	4	5

その他にご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

(2) では、次のうち貴事業所が優れていると思うところはどこですか、あてはまるものすべてに○印をつけてください。
(○印はいくつでも)

- a. 意思決定力
- b. 実務、現場の知識に精通していること
- c. 企画力、構想力
- d. 先見性
- e. 指導力
- f. 人間的魅力
- g. 対外的な交渉力、折衝力
- h. 業界への影響力

(3) 最近の経営環境の変化に対して、どのような対応策をとっていますか、あてはまるものすべてに○印をつけてください。
(○印はいくつでも)

- 1. 合理化、コストダウン
- 2. 製品の高制度化、高付加価値化
- 3. 新製品の開発
- 4. 多品種少量生産への対応
- 5. 事業分野の多角化
- 6. 企画、研究開発の強化
- 7. 情報化の推進
- 8. 事業、業種転換
- 9. 販促、営業体制の強化
- 10. 企業間連携の強化
- 11. 産学官連携の強化
- 12. 海外展開
- 13. その他 ()

(4) 事業や経営についてどのようにお考えですか、それぞれの項目について、「あてはまる」から「あてはまらない」まで、あなたの考えにもっとも近いものに○印をつけてください。(○印はそれぞれ1つ)

	あてはまる	ある程度あてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
a. 現在の事業を拡大したり、新しい分野に進出していききたい	1	2	3	4	5
b. 技術や技法を高めたいだけでは足りない、今後も生き残っていくこと	1	2	3	4	5
c. 今のままで仕事を続けられれば、それでよい	1	2	3	4	5
d. 昔ながらのやり方にとこだわりたい、新しい技術や技法を開発したり取り入れていきたい	1	2	3	4	5
e. 仕事のことについて他人にとやかく言われたくはない	1	2	3	4	5
f. 新しい技術・技法よりも、長年の助や経験の方が頼りになる	1	2	3	4	5
g. 自社の製品や技術・技法、品質は、どこに出しても通用する自信がある	1	2	3	4	5
h. 今後も生き残っていくためには、他の事業所と経営統合したり合併することも必要だ	1	2	3	4	5
i. 将来にわたって事業を続けていきたい	1	2	3	4	5

(裏面に続く)

最後に、お答えなければご回答いただけない方の氏名・所属等をご記入ください。(それぞれ記入)

お名前	
お役職名	
電話番号	() -
E-mail	@

質問は以上です。質問は以上です。ご協力ありがとうございました。